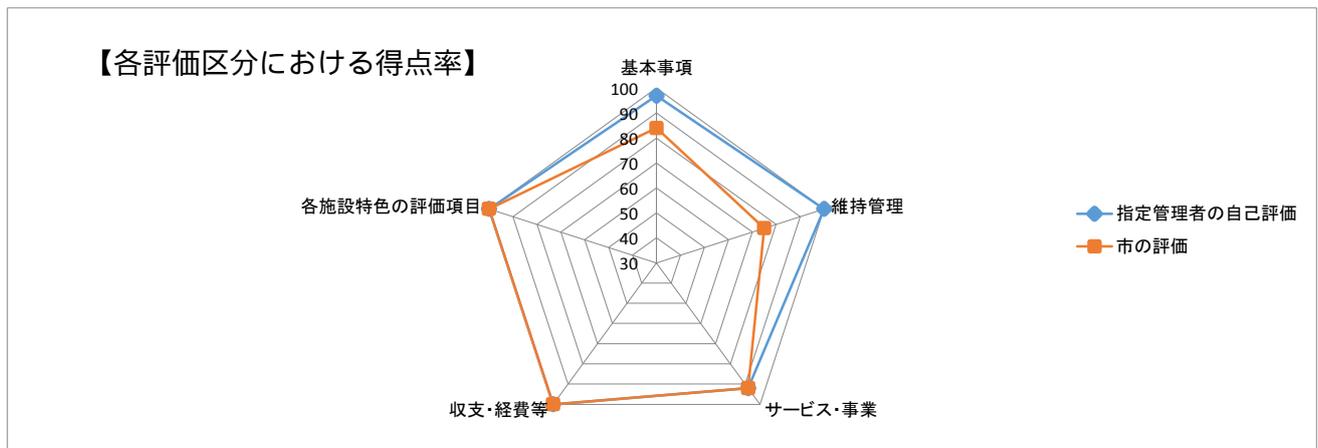


平成30年(2018年)度 指定管理施設評価結果書

施設名	開成山屋内水泳場	評価対象期間	平成30年4月～平成31年3月			
指定管理者	日本水泳振興会・三菱電機ビルテクノサービス共同事業体	指定期間	平成29年7月～平成32年3月			
施設所管部課	文化スポーツ部スポーツ振興課					
評価項目	評価基準	配点	指定管理者自己評価	市評価	特記事項	
I 基本事項						
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。 (例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限 等)	4	4	4	1年目に続き、利用者への安全管理を適切に行い、事故なく運営できた。
2	利用者への配慮	配慮が必要な利用者(高齢者、障がい者、妊婦、子ども等)に対して、施設管理面で適切な対応されているか。	4	4	3	
3	地域経済への配慮	計画どおりに市内からの職員採用を行っているか。 また、市内事業者への再委託を行っているか。	4	4	4	
4	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。 必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	4	3	3	
5	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	4	4	4	
6	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	4	4	3	
7	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時または危険予測時の対策・対応が行われているか。 (例：マニュアル整備、訓練 等)	4	4	3	
8	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。 市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	4	4	3	
		小計	32	31	27	
II 維持管理						
9	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。 施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	4	4	3	1年間の運営実績・経験を踏まえ、専門的な知識を活かし施設の適正な維持管理を行った。
10	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	4	4	3	
11	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	4	4	3	
12	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	4	4	3	
13	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示 等) 市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	4	4	3	
		小計	20	20	15	
III サービス・事業						
14	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。 サービス向上の取り組みがなされているか。	4	3	3	自主事業の一部が計画どおりに実施されなかった。
15	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。 (例：事業の開催案内、ホームページの管理 等)	4	4	4	
16	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4	3	3	
17	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。) 特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4	4	4	
18	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。 (例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等)	4	4	4	
19	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	4	4	4	
		小計	24	22	22	
IV 収支・経費等						
20	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。 契約にあたり、適正な経費算定(積算)が行われたか。 業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	4	4	4	光熱水費の削減及び利用料金の増加により、収支が改善された。
21	執行状況	指定管理料の支出が適正に行われたか。(特に、自主事業に充てていないか。)	4	4	4	
22	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	4	4	4	
23	再委託	再委託は計画どおり適正に行われているか。	4	4	4	
		小計	16	16	16	
V 各施設特色の評価項目						
24	活動指標	開館日数の目標値(330日)を達成しているか。	4	4	4	利用料金及び利用者数とも、前年より平均して上回る事ができた。
25	成果指標	利用料金収入の目標値(39,000千円)を達成しているか。	4	4	4	
		小計	8	8	8	
合計点			100	97	88	

	実 績				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
指定管理料 (千円)	125,187	157,500			
利用料金収入 (千円)	17,519	39,858			
利用者数 (人)	49,478	86,939			
市の評価	A	A			
備 考	H29.7.22オープン				

サービス向上対策		新規
主な内容		
・回数券、定期券導入によるリピーターの増加		○
・館内BGM、フリーwi-fi導入による付帯サービスの充実		○
・キッズスペース、耳マーク、杖フック設置等のバリアフリー化		○



【指定管理者による自己評価】

5段階評価	100点満点	指定管理者のコメント・特記事項等
S	97	水泳の日2018の開催、ハンガリー競泳チームの合宿受入れ等でメディアにも大きく取り上げられた1年でした。その影響もあり利用者が増え、昨年度からの課題であった指定事業収入の安定を図ることができました。また、維持管理においても初年度のデータを活用して空調やろ過装置の運転時間を見直すことで光熱水費の削減を実施しました。次年度では、更なる利用者満足度の向上に努め、自主財源の確保に努めたいと考えております。

【市による評価】

5段階評価	100点満点	施設所管部課のコメント・特記事項等
A	88	利用者からの要望にあった定期券及び回数券を導入したことにより、より水泳場を継続的に利用しやすくなり、利用者のニーズに対応できたと考えられる。 昨年に比べ1月当たりの利用者数が増加しており、これは指定管理者による水泳教室などの自主事業や、合宿誘致による団体利用の増加が要因と考えられる。また会議室を利用したヨガ教室の開催など、稼働率を上げる事業を実施していることは、施設の有効活用の面からも評価できる。 今後も利用者数及び利用料金の増加のため、さらなるサービス向上に努めてもらいたい。また、施設を安心して利用してもらうため、引き続き事故のないように運営してもらいたい。